

6 本時の目標と展開 (授業② 1年3組)

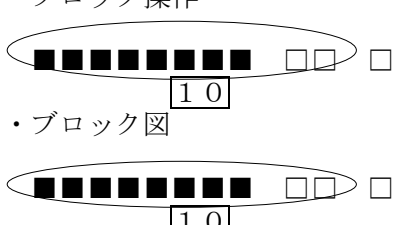
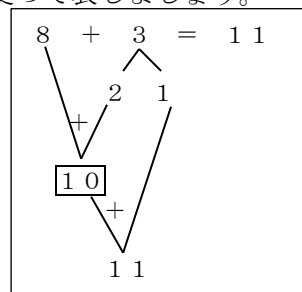
(1) 本時の授業構想図

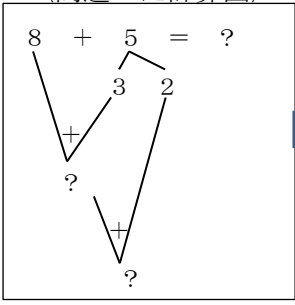
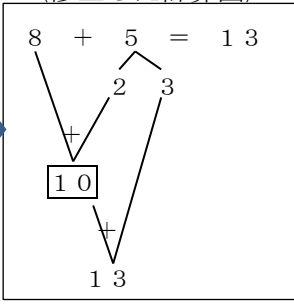
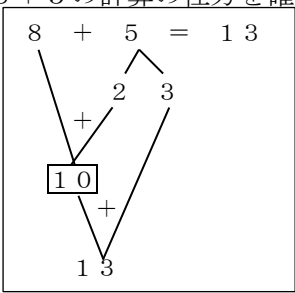
本時のねらい	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法の理解を深める。	
振り返り	<p>「前の学習と同じように、『10のまとまり』をつくったり、加数を分けて計算したりするとよいことが分かった。」</p> <p>「$8+3$、$8+5$の計算の仕方を、ブロック操作や図、言葉で説明することができた。」</p> <p>「『10のまとまり』をつくと計算しやすい。」</p>	
本時のバージョンアップされた考え	被加数が8のたし算のときも、「10のまとまり」をつくって計算することができる。	
本時の「しなやかに考える子ども」の姿	<p>「前の学習と同じように10のまとまりをつくれればできそうだ。」</p> <p>「8はあと2で10。だから、3を2と1に分ければよい。」</p>	
しなやかさにかける子どもへの支援	<p>ブロック操作をしたり図に表したりしながら、「10のまとまり」をつくるにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>ブロックケースを使って、「10のまとまり」を意識させる。</p>	
ギャップを乗り越えさせるための算数的活動	加数を分けて10のまとまりをつくることを、ブロックを操作したり図に表したりして考えさせる。	
ギャップ (違いやつまずき)	8+5の計算は、どのように10のまとまりをつくって計算したらよいのだろう。	
既習	<p>$9+4$の計算の仕方を考えよう。</p> <p>10のまとまりをつくる。</p> <p>加数の4を1と3に分ける。</p>	
問題	8+3のけいさん	
評価規準	被加数が8の場合でも、10のまとまりをつくれればよいことを理解している。(知識・理解)	
評価の具体	十分満足と判断される状況	努力を要する状況の児童への手立て
	「10のまとまり」に着目し、ブロック操作や計算図を用いて計算の仕方を説明することができる。	既習を想起させたり板書を示したりしながら、「10のまとまり」をつくれればよいことに気付かせる。

(2) 本時の目標

1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法の理解を深める。

(3) 本時の展開

段階	学習活動と予想される児童の反応	留意点（・）と評価（□） しなやかに考える子どもの姿（※）
つかむ 3分	<p>1 問題を把握する。 ○今日の問題は $8 + 3$ の計算です。</p> <p>2 課題を把握する。 8 + 3 のけいさんのしかたを考えよう。</p>	
考える 8分	<p>3 自力解決をする。 ○前の問題と比べて、気付いたことはありませんか。 ・数が違う。 ・前は「$9 + \bigcirc$」の問題、今日は「$8 + \bigcirc$」の問題</p> <p>○どのようにして計算するとよいですか。 ・10のまとまりをつくれればよい。 ・前の学習と同じように後ろの数を分けるとよい。 ・ブロック操作 ・ブロック図 ・計算図 ・言葉の説明</p> <p>○最初に、ブロックで確かめましょう。 ・ブロック操作</p> <p>○ブロックの動かし方が分かるように、ブロック図に表しましょう。 ・ブロック図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時との違いについて問い、本時は「$8 + \bigcirc$」の計算の仕方について考えていくことを確かめる。 ・前時の学習を想起させ、$9 + 4$ の計算のしかたを確かめる。「4を1と3に分ける」ことや「10のまとまり」をつくって計算したことを確かめる。 ・前時の学習を想起させながら、$9 + 4$ の計算と同じように、「10のまとまりをつくる」「加数を分ける」とできそうだという見通しをもたせる。 <p>※（仮説1に関わって） 加数を分けて10のまとまりをつくることを、ブロックを操作したり図に表したりして考えさせる。 「10のまとまりをつくれればできそうだ。」 「8はあと2で10。だから3を2と1に分ければよい。」</p>
つくる 28分	<p>4 学び合う。 ○ブロックをどのように動かして答えを見つけたか。 ・ブロック操作</p>  <p>・ブロック図</p> <p>○計算図を使って表しましょう。 ・計算図</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックを操作しながら、言葉で説明させる。 ・児童の発言をもとに、「10のまとまりをつくる」「3を2と1に分ける」などの大事な言葉は黒板に書き留めておく。また、○で囲んだり、色分けしたりするなどして、「10のまとまり」や「分けること」が視覚的にも分かるように整理する。 ・始めに児童に計算図をかかせてから、全体で確認する。まだ計算図に書き慣れていないため戸惑う児童や加数の分け方を間違える児童がいることが予想される。この場では正しい表し方をしている児童を取り上げ、ブロック操作や図と関連付けながら計算図の表し方や「10のまとまり」を確かめていく。

<p>○3つのやり方で同じところは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりをつくっている。 ・3を2と1に分けている。 ・10といくつになっている。 <p>○どうして「10のまとまり」をつくるといいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい。 ・「10といくつ」で考えやすい。 <p>○8+3の計算は、どのようにすればよいことが分かりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりをつくる。 ・3を2と1に分ける。 <p>5 8+5の計算をする。</p> <p>○計算図を使って答えを求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算図 <p>○8+5の計算の仕方を確かめましょう。</p> <p>どこが間違いか考えよう。</p> <p>〈間違った計算図〉</p>  <p>〈修正した計算図〉</p> 	<p>※(仮説2に関わって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック操作, ブロック図, 計算図の3つの方法の共通点について考えさせ、「10のまとまり」や「3を2と1に分けている」ことに気付かせる。 ・3つの方法を関連付けながら、「10のまとまりをつくる」ことのよさを確かめていく。「どのやり方でも10のまとまりをつくっている。」 「8はあと2で10。だから、3を2と1に分けるとよい。」 <p>・児童の発言をもとに、板書を振り返りながら8+3の計算の仕方を言葉でまとめる。</p> <p>※(仮説2に関わって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算図に表す際に加数の分け方を間違える児童がいることが予想される。そのため、始めに児童に計算図を考えさせた上で、教師が〈間違った計算図〉を提示し、どこが間違いなのか話し合わせる。児童の実態に合わせてブロック操作で確かめたり既習の8+3の計算の仕方を振り返ったりしながら、「10のまとまり」を再確認していく。 「5を2と3に分けないと、10のまとまりはできない。」 「10のまとまりをつくるために、5を2と3に分ける。」 <p>知被加数が8の場合でも、10のまとまりをつくればよいことを理解している。(発言・ノート)</p>
<p>まとめ</p> <p>3分</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <p>○8+5の計算の仕方を確かめましょう。</p>  <div data-bbox="558 1400 837 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①8はあと2で10。</p> <p>②5を2と3に分ける。</p> <p>③8に2をたして10。</p> <p>④10と3で13。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・8+5の計算の仕方を計算図で確かめる。 ・教師が板書を使って本時の学習を振り返ってまとめる。
<p>つなげる</p> <p>3分</p> <p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>○今日の学習で分かったことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の学習と同じように、「10のまとまり」をつくって計算することが分かった。 ・3を2と1に分けて計算するとよいことが分かった。 ・8+3や8+5の計算の仕方を、ブロック操作や図, 言葉で説明することができた。 <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったことを発表させる。 ・次時は被加数が9, 8の場合の加法の計算練習をすることを知らせる。

(4) 本時の板書

8 + 3 のけいさんのしかた
をかんがえよう。

$8 + 3 = 11$

- 10のまとまり
- 3をわける
- ブロック
- ブロックず
- けいさんず
- ことば

10のまとまりを
つくる。
3を2と1にわける。
10と1で、11

〈ブロック〉

10

10と1で、11

〈ブロックず〉

10

10と1で、11

〈けいさんず〉

$8 + 3 = 11$

11

$8 + 5 = 13$

$8 + 5 = ?$

$8 + 5 = 13$

〈ブロック〉

10

10と3で、13

- 〈ことば〉
- ① 8はあと2で10。
 - ② 5を2と3にわける。
 - ③ 8に2をたして10。
 - ④ 10と3で13。